

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2023 年 2 月 15 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」新石切駅前校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			支援スペース法礼遵守しているが、今後とも、指導員間の情報共有を密にし、より充実した支援を提供できるように努める。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			法礼遵守の確保をしている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		シンプルな空間設定をしているが玄関・トイレのみ少し段差があります。カラーテープを用いて段差があることを示唆している。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			朝礼・会議を行い全員で目標設定と振り返りを行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			評価表を元に保護者の意向等を聞き取り 業務改善に努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			当社HPにて公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			外部評価はしていないが常に業務改善を心掛けている。今後必要に応じて検討する。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			新人研修・定例研修等・テーマ研修・事例研修等を年間計画に基づいて受講。Zoom による研修と後半については対面研修を行った。所内についても日々の振り返り等で資質向上のための研修を実施している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者・相談支援事業所等担当者会議に参加し計画期間ごとに個別の支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			統一したアセスメントシートを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			会議において立案している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			研修会で得た内容を参考にしながら、常に新しい課題・効果的に楽しく学べる課題を追求している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇に宿題完成を優先して取組んだり、個々のニーズに応じてきめ細かな課題を設定している。

	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			月に1回程度、集団SSTを実施しその状況を参考に支援計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼を行い、支援内容・教室使用など確認しながら、日々情報共有している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			可能・かつ緊急の場合はその日に行い、それ以外は、朝礼等で行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援記録を詳細に取り、支援の改善充実につなげている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6か月に1回を原則（児童の状況に応じて1か月もあり）としてモニタリングをしている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			アセスメントを元に長期目標・短期目標を設定した計画を立てて支援している。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達管理責任者・担当者が参画（今年度は書面もあり）している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			必要と判断した時は、連絡調整・情報共有を行いニーズにこたえられるような対応をしている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在、在籍はしていないが、体制が整った場合には受け入れを判断していきたいと思う。その際には連絡体制を整えていく。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			要望・必要に応じて情報共有ができる体制を構築している。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			要望・必要に応じて情報共有ができる体制を構築している。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	研修や助言を受け入れる体制を構築している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	未実施だが、必要があれば今後検討していく。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	機会があれば参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			毎回支援終了後にフィードバックの時間を設定し、連絡帳を活用している。

	⑳	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	事業所内相談支援を実施し電話での相談・フィードバック時の相談など保護者支援の充実を図っている。
保護者への説明責任等	㉑	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		説明書をお渡しし契約時に丁寧な説明を行っている。さらに事業所内にも掲示している。
	㉒	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		フィードバック時・連絡帳・場合によっては電話等に応じている。
	㉓	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	要望があれば検討していく。
	㉔	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情があった場合は迅速適切に対応できる体制は構築している。
	㉕	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		行事予定等の早期連絡・HPでのきりだより・ライン等を活用し、発信の充実を図っている。
	㉖	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報保護に関する研修を行い、個人情報の持ち出し禁止、保管の徹底を図っている。
	㉗	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		タブレット活用やひらがな使用等で情報伝達の配慮をしている。
	㉘	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	現在は未実施。今後検討していく。
非常時等の対応	㉙	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		マニュアルを作成し、教室内に掲示周知しています。また防災計画を立案し職員や利用者による訓練を実施している。
	㉚	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		同上 飲料水・食料備蓄も行っている。
	㉛	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		マニュアル作成・定期的な研修実施をしている。
	㉜	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		現在身体拘束が必要な児童はいません。契約時に十分な説明をして個別の支援計画の特記事項に記載予定をしている。
	㉝	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	契約時にアレルギーの有無を確認し常に留意している。
	㉞	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		報告書を作成しファイリングして共有している。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2023年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」新石切駅前校 保護者等数（児童数）：40（44）回収数：35

割合： 87.5 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	33	2	0	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	32	3	0	
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	29	5	1	シンプルな空間設定をしているが玄関・トイレのみ少し段差があります。カラーテープを用いて段差があることを示唆している。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	34	1	0	
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	33	2	0	行事もあり楽しんで通所している。保護者同士が話できるイベントの工夫等さらに図っていききたいと思う。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	24	10	わからないという意見がおおかったので、要望があれば検討し今度対応していきたい。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	32	3	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	29	5	1	保護者からアドバイスをいただき、大変助かっているなどの意見を頂戴している。今後も適切なアドバイスができるように努めていきたいと思う。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	29	4	2	保護者から学校の授業中などの悩みもたくさん聞いていただき心強いと意見を頂戴している。きらりは、いつでもご相談にのり、できるだけ面談の回数が増えるように努める。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	19	9	保護者同士の意見交換ができるように、小集団による事業所内相談支援等の充実を図っていききたい。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	19	12	2	苦情処理体制は構築しております。連絡帳やLINE・電話等でご要望やご質問には迅速に対応しております。今後もそのように努めていきたいと思う。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	30	5	0	

	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	19	15	1	ブログ・LINE きらりだより・カレンダー・お知らせ等を発信している。今後もさらに充実していきたい。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	31	4	0	
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	31	4	0	契約時に説明しておりますがさらに周知できるよう努めていきたい。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	22	10	3	月に1回防災訓練を実施し年に1~2回は利用者参加をしています。周知徹底の情報発信をしていきたいと思う。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	30	5	0	保護者から勉強は好きではないが先生方のお陰で嫌がらずに通えている。楽しく課題に取り組めるなどの意見を頂戴している。きらりとしては、さらに課題や支援の工夫をはかっていきたい。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	33	2	0	保護者から学校の授業の進み具合に柔軟に対応してくださり、子どもの自信につながっている。保護者のニーズにこたえ、子どもの「わかった・できた」がさらに増えるよう支援の質の向上に努めていく。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。